

九州特別プロジェクト： モデル駆動開発プロセス(QMDD)審査

ETロボコン九州地区 審査委員
九州大学 システムLSI研究センター
久住 憲嗣

2011-07-22版

QMDD審査

- 目的
 - モデル駆動開発できる技術者の育成
- モデルを利用した開発プロセスを審査
 - 開発プロセスを記述したモデル図が審査対象
 - 自動化は必須ではなく、モデルを利用してどのように生産性、品質、etc、を向上させたかを審査対象とする
- モデル審査結果にも(きっと?)好影響
- 希望チームはモデル×切までにQMDD審査窓口に申し込み
 - モデル図中に記述
 - QMB審査用に1ページ追加も可能
 - ただし通常のモデル審査対象は1+5ページのみ

審査方法、観点

- 加点評価
 - すべての項目を網羅する必要はない
- 開発プロセス
 - 自動化
 - モデルを利用した検証
 - 適用効果の評価(品質、工数)
 - 運用、保守
- 導入プロセス
 - チームビルディング
 - 技術の評価、スコアリング
 - 既存資産の利用技術(リバースモデリングなど)
 - 教育

通常モデル審査との対応

□ QMDD対応モデルを記述すると、モデル審査のスコアも向上!

■ 通常モデル図内に記述できれば・・・

□ 追加課題：開発支援

分析/設計/実装/計測/検証等の開発支援において、ソフトウェアの品質及び開発効率を向上させるための手段や方法について審査します。

各チームにおける開発に関する課題が明確に示されており、その課題に対して効果的な開発支援がなされているかを評価します。

□ オリジナリティ

モデルの記述内容から、新しい試みや日常の開発で出来ないことにチャレンジし、それが有効であったと判断された場合には、オリジナリティとして加点を行います。